

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ブラジル株式マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにブラジルの企業のDR（預託証券）
ベビーファンドの運用方法	運用の効率化をはかるため、当ファンドにおいて株価指数先物取引等を利用することがあります。 ※株式と株価指数先物取引等の時価総額の合計額は、当ファンドの純資産総額に、設定・解約申込金額を加減した額程度を上限とします。	
マザーファンドの運用方法	①主としてブラジルの株式（※）に投資し、中長期的にベンチマーク（ボブスパ指数（円換算））を上回る投資成果をめざして運用を行ないます。 ②経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデル アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。 ④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 （※）株式…DR（預託証券）を含みます。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ブラジル株式オープン

## 運用報告書(全体版)

### 第9期

(決算日 2017年12月20日)

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ブラジル株式オープン」は、このたび、第9期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ボベスパ指数 (円換算)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	税込み 分配金 円	期中 騰落率 %	(参考指数)	期中 騰落率 %			
5 期末 (2013年12月20日)	12,490	0	△ 5.8	14,402	△ 7.9	96.9	—	1,707
6 期末 (2014年12月22日)	11,907	0	△ 4.7	14,039	△ 2.5	97.4	—	1,269
7 期末 (2015年12月21日)	7,341	0	△ 38.3	8,415	△ 40.1	96.9	—	730
8 期末 (2016年12月20日)	10,440	0	42.2	12,509	48.7	97.2	—	859
9 期末 (2017年12月20日)	12,692	0	21.6	15,709	25.6	97.1	—	824

(注1) ボベスパ指数 (円換算) は、ボベスパ指数 (配当込み、ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

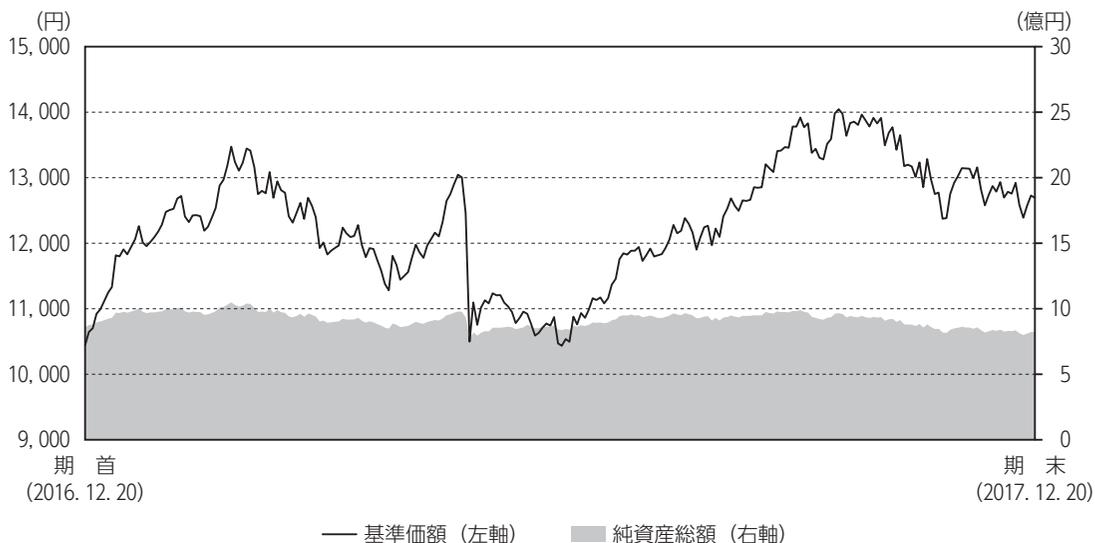
(注3) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,440円

期末：12,692円

騰落率：21.6%

#### ■ 基準価額の変動要因

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。商品価格の上昇、国営電力会社の民営化、社会保障改革への期待やテメル大統領の求心力改善などを受けて、株式市場が上昇したことが主なプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ブラジル株式オープン

年 月 日	基 準 価 額		ボベスパ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2016年12月20日	円	%		%	%	%
	10,440	—	12,509	—	97.2	—
12月末	11,330	8.5	13,548	8.3	97.2	—
2017年1月末	12,408	18.9	14,740	17.8	97.3	—
2月末	12,799	22.6	15,180	21.4	96.1	—
3月末	12,150	16.4	14,628	16.9	97.1	—
4月末	11,777	12.8	14,223	13.7	97.4	—
5月末	11,208	7.4	13,716	9.6	96.5	—
6月末	10,860	4.0	13,283	6.2	96.2	—
7月末	11,833	13.3	14,531	16.2	96.4	—
8月末	12,646	21.1	15,598	24.7	96.2	—
9月末	13,280	27.2	16,396	31.1	97.5	—
10月末	13,177	26.2	16,237	29.8	97.3	—
11月末	12,823	22.8	15,809	26.4	97.5	—
(期末) 2017年12月20日	12,692	21.6	15,709	25.6	97.1	—

(注) 騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016. 12. 21 ~ 2017. 12. 20)

## ■ブラジル株式市況

ブラジル株式市況は上昇しました。

期首より、ブラジルの財政再建への期待が高まったことやブラジル中央銀行が利下げを実施したこと、鉄鉱石などの資源の価格が上昇したことなどを受けて、ブラジル株式市況は上昇基調となりました。しかしその後は上値の重い展開が続き、2017年5月にはテメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑が報じられたことを受けて、現政権での構造改革が遅れるとの懸念が広がったため急反落しました。その後、汚職隠ぺいの証拠が事前報道ほど決定的ではなかったことや、労働規制を緩和する内容の労働法改革法案がブラジル議会で成立したことが好感されて上昇しました。8月以降も、社会保障改革への期待が高まったことや国営電力会社エレトロブラスを含む民営化計画の発表を受け、財政見通しが改善するとの見方が強まったことなどから上昇基調を維持しました。10月後半以降は、社会保障改革の遅延に対する懸念から軟調な展開となり、期末を迎えました。

## ■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

期首より、ブラジルのインフレが沈静化していることや財政健全化に向けた改革が進展していることなどを受けて、レアルは対円で堅調な推移となりました。その後は、米国の利上げ観測の高まりやブラジルの社会保障改革の進ちょくに対する懸念が台頭したことなどを受けて、上値の重い展開となりました。2017年5月には、テメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑を受けて構造改革の進展に対する懸念が広がったことから、大幅に下落しました。6月に入ると、労働規制を緩和する内容の労働法改革法案がブラジル議会で成立したことなどから、対円で上昇する展開となりました。8月以降は、米国と北朝鮮間の緊張の高まりにより円高となったことを受けて対円で下落する場面がありましたが、国営インフラ（社会基盤）事業の民営化計画の発表などが好感され反発しました。10月以降は、米国金利の上昇を受けて新興国通貨への売り圧力が強まったことなどから、対円で下落基調となりました。その後も、年金改革の遅延懸念などから下落基調で期末を迎えました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

### ■ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

## ポートフォリオについて

(2016. 12. 21 ~ 2017. 12. 20)

### ■当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位に保ちました。

### ■ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

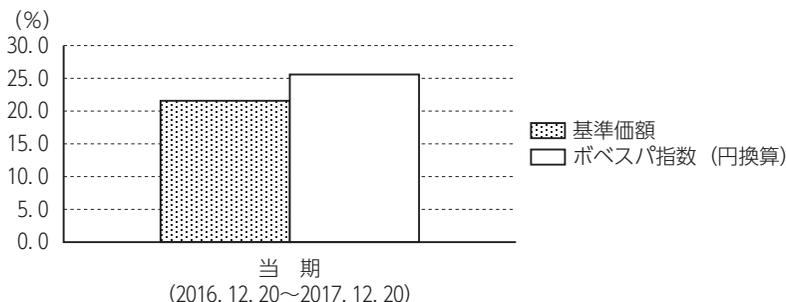
当期は、株式組入比率を高位に保ち、成長性や株価バリュエーション等の分析に基づき、ポートフォリオを構築しました。セクターでは、金融セクターや素材セクター、生活必需品セクターの組入比率を高位としました。金融セクターでは、ブラジル景気の回復から恩恵を受けるとの見方から、ITAU UNIBANCO や BANCO BRADESCO などの銀行株を高位の保有としました。また、生活必需品セクターでは、飲料大手の AMBEV などの買い付けを行ない、高位に保有しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

参考指数（ボベスパ指数（円換算））の騰落率は25.6%の上昇となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は21.6%の上昇となりました。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年12月21日 ～2017年12月20日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,180

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

### ■ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 12. 21～2017. 12. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	223円	1. 814%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12, 314円です。
(投 信 会 社)	(106)	(0. 864)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(106)	(0. 864)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(11)	(0. 086)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	17	0. 135	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(17)	(0. 135)	
有 価 証 券 取 引 税	2	0. 014	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0. 014)	
そ の 他 費 用	25	0. 199	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(14)	(0. 115)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(10)	(0. 079)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	266	2. 163	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ブラジル株式オープン

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年12月21日から2017年12月20日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	187,855	103,400	571,385	351,100

(注) 単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2016年12月21日から2017年12月20日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・ブラジル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,228,798千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,640,037千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.12

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	1,706,596	1,323,066		823,476

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2017年12月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	823,476	98.7
コール・ローン等、その他	11,022	1.3
投資信託財産総額	834,499	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.97円、1ブラジル・レアル＝34.32円です。

(注3) ダイワ・ブラジル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,467,003千円)の投資信託財産総額(4,516,031千円)に対する比率は、98.9%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	834,499,636円
コール・ローン等	10,322,958
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド(評価額)	823,476,678
未収入金	700,000
(B) 負債	9,747,668
未払解約金	1,461,677
未払信託報酬	8,261,491
その他未払費用	24,500
(C) 純資産総額(A-B)	824,751,968
元本	649,797,642
次期繰越損益金	174,954,326
(D) 受益権総口数	649,797,642口
1万口当り基準価額(C/D)	12,692円

\*期首における元本額は822,985,385円、当期中における追加設定元本額は117,288,999円、同解約元本額は290,476,742円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は12,692円です。

■損益の状況

当期 自 2016年12月21日 至 2017年12月20日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 2,719円</b>
受取利息	528
支払利息	△ 3,247
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>153,062,579</b>
売買益	207,135,104
売買損	△ 54,072,525
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 16,689,356</b>
<b>(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)</b>	<b>136,370,504</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 222,420,888</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>261,004,710</b>
(配当等相当額)	( 84,243,736)
(売買損益相当額)	( 176,760,974)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>174,954,326</b>
<b>次期繰越損益金 (G)</b>	<b>174,954,326</b>
追加信託差損益金	261,004,710
(配当等相当額)	( 84,243,736)
(売買損益相当額)	( 176,760,974)
分配準備積立金	75,638,605
繰越損益金	△ 161,688,989

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：5,125,604円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	16,962,939円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	261,004,710
(d) 分配準備積立金	58,675,666
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	336,643,315
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	336,643,315
(h) 受益権総口数	649,797,642口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

## 運用報告書 第20期 (決算日 2017年12月20日)

(計算期間 2017年6月21日～2017年12月20日)

ダイワ・ブラジル株式マザーファンドの第20期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにブラジルの企業のDR（預託証券）
運 用 方 法	<p>①主としてブラジルの株式（※）に投資し、中長期的にベンチマーク（ボベスパ指数（円換算））を上回る投資成果をめざして運用を行ないます。</p> <p>②経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態 で信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※株式…DR（預託証券）を含みます。</p>
株式組入制限	無制限

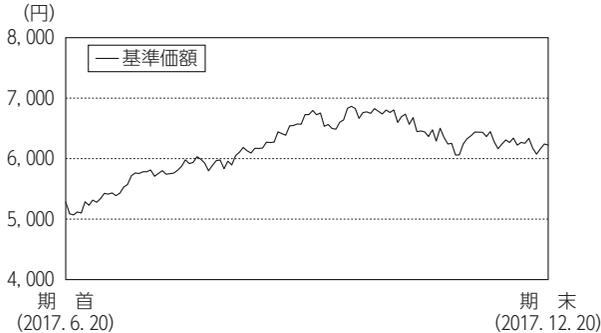
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		ボベスパ指数 (円換算)		株式	株式
	円	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率	組入比率	先物比率
		%		%	%	%
(期首) 2017年6月20日	5,282	—	5,864	—	96.5	—
6月末	5,278	△ 0.1	5,859	△ 0.1	96.4	—
7月末	5,761	9.1	6,410	9.3	96.6	—
8月末	6,167	16.8	6,880	17.3	96.4	—
9月末	6,486	22.8	7,232	23.3	97.7	—
10月末	6,446	22.0	7,162	22.1	97.5	—
11月末	6,282	18.9	6,973	18.9	97.6	—
(期末) 2017年12月20日	6,224	17.8	6,929	18.2	97.3	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) ボベスパ指数(円換算)は、ボベスパ指数(配当込み、ブラジル・リアルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：5,282円 期末：6,224円 騰落率：17.8%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。商品価格の上昇、国営電力会社の民営化、社会保障改革への期待やテメル大統領の求心力改善などを受けて、株式市場が上昇したことが主なプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○ブラジル株式市況

ブラジル株式市況は上昇しました。

期首より、中国景気の減速懸念が後退し商品価格が上昇したことや、労働規制を緩和する内容の労働法改革法案がブラジル議会で成

立したことが好感され、ブラジル株式市況は上昇基調となりました。2017年8月以降は、米国と北朝鮮間の緊張の高まりを懸念する場面もありましたが、社会保障改革への期待が高まったことや国営電力会社エトロプラスを含む民営化計画の発表を受け、財政見通しが改善するとの見方が強まり上昇幅を拡大しました。9月以降も、テメル大統領の求心力改善やブラジル景気見通しの改善などがプラス要因となり、おおむね堅調な推移を維持しました。10月後半以降は、閣僚入れ替えにより小規模政党の支持拡大を図ったことが好感されて一時反発する場面がありましたが、社会保障改革の遅延に対する懸念から軟調な展開となり、期末を迎えました。

○為替相場

ブラジル・リアルは対円で小幅に上昇しました。

期首より、労働規制を緩和する内容の労働法改革法案がブラジル議会で成立したことや、欧米における債券利回りの上昇を受けて円安となったことなどから、リアルは対円で上昇する展開となりました。鉄鉱石や原油などの商品価格の上昇もリアルが上昇する要因となりました。2017年8月以降は、米国と北朝鮮間の緊張の高まりにより円高となったことを受けて対円で下落する場面がありましたが、国営インフラ(社会基盤)事業の民営化計画の発表などが好感され再び対円での上昇基調を取り戻しました。10月以降は、米国金利の上昇を受けて新興国通貨への売り圧力が強まったことなどから、対円で下落基調となりました。その後も、年金改革の遅延懸念などから下落基調で期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント(ブラジル)の助言を受けます。

◆ポートフォリオについて

当期は、株式組入比率を高位に保ち、成長性や株価バリュエーション等の分析に基づき、ポートフォリオを構築しました。セクターでは、金融セクターや素材セクター、生活必需品セクターの組入比率を高位としました。金融セクターでは、ブラジル景気の後復から恩恵を受けるとの見方から、ITAU UNIBANCO や BANCO BRADESCO などの銀行株を高位の保有としました。また、素材セクターでは、総合資源開発企業のVALEなどを高位の保有とするとともに、今後の業績動向を見極めながら保有銘柄の入れ替えを実施しました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマーク(ボベスパ指数(円換算))の騰落率は18.2%の上昇となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は17.8%の上昇となりました。資本財サービスセクターの銘柄選択などがマイナス要因となりました。

《今後の運用方針》

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント(アメリカ)リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント(ブラジル)の助言を受けます。

# ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

## ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	5 (4) (1)
合 計	10

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■主要な売買銘柄

### 株 式

(2017年6月21日から2017年12月20日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		株 数		金 額	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
AMBEV SA-ADR (ブラジル)	156.5	111,288	711	BANCO BRADESCO-ADR (ブラジル)	140.5	179,776	1,279
BANCO BRADESCO-ADR (ブラジル)	99.5	108,427	1,089	ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR (ブラジル)	120.5	172,568	1,432
ESTACIO PARTICIPACOES SA (ブラジル)	81	83,164	1,026	PETROLEO BRASIL-SP PREF ADR (ブラジル)	114	111,649	979
ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR (ブラジル)	178	68,749	386	TELEFONICA BRASIL-ADR (ブラジル)	61.8	108,957	1,763
CIELO SA (ブラジル)	79	66,303	839	VALE SA-SP ADR (ブラジル)	72.5	86,792	1,197
TIM PARTICIPACOES SA-ADR (ブラジル)	26	53,013	2,038	ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT (ブラジル)	106.265	68,568	645
QUALICORP SA (ブラジル)	38	48,317	1,271	BRF SA-ADR (ブラジル)	46	62,508	1,358
KROTON EDUCACIONAL SA (ブラジル)	92	47,981	521	BRASKEM SA-SPON ADR (ブラジル)	21.2	57,605	2,717
BRASKEM SA-SPON ADR (ブラジル)	14.5	46,074	3,177	CCR SA (ブラジル)	91	56,799	624
FIBRIA CELULOSE SA-SPON ADR (ブラジル)	25	43,821	1,752	SUZANO PAPEL E CELULOSE SA (ブラジル)	79	55,009	696

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

### 外国株式

銘 柄	期 首		当 期		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	株 数	株 数	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR	4,560.23	3,355.23	4,173	471,526	金融		
BRASKEM SA-SPON ADR	200	133	353	39,966	素材		
GERDAU SA-SPON ADR	1,855	1,400	509	57,569	素材		
BRF SA-ADR	945	670	722	81,669	生活必需品		
BANCO BRADESCO-ADR	3,735.07	3,325.07	3,298	372,628	金融		
TIM PARTICIPACOES SA-ADR	—	240	450	50,944	電気通信サービス		
PETROLEO BRASILEIRO-SPON ADR	1,100	960	923	104,330	エネルギー		
AMBEV SA-ADR	3,620	4,710	2,920	329,894	生活必需品		
TELEFONICA BRASIL-ADR	913.8	315.8	485	54,798	電気通信サービス		

## ■売買および取引の状況

### 株 式

(2017年6月21日から2017年12月20日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 4,125 (△198.06)	千アメリカ・ドル 3,862 (—)	百株 7,761	千アメリカ・ドル 8,231
	ブラジル	百株 9,525 (△81.98)	千ブラジル・レアル 17,159 (244)	百株 11,972.65	千ブラジル・レアル 21,782

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

銘柄	株数	期首		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
PETROLEO BRASIL-SP PREF ADR	3,790	2,690	2,477	279,882	エネルギー	
CIA ENERGETICA DE-SPON ADR	1,460	900	173	19,622	公益事業	
VALE SA-SP PREF ADR	2,920	—	—	—	素材	
VALE SA-SP ADR	385	2,496.94	2,886	326,083	素材	
CIA SIDERURGICA NACL-SP ADR	320	720	160	18,138	素材	
FIBRIA CELULOSE SA-SPON ADR	190	415	604	68,307	素材	
ULTRAPAR PARTICPAC-SPON ADR	146	130	285	32,265	エネルギー	
CIA BRASILEIRA DE DIS-SP PRF	270	115	249	28,152	生活必需品	
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	26,410.1	22,576.04	20,676	2,335,780	
	銘柄数 < 比率 >	16 銘柄	16 銘柄		< 51.8% >	
(ブラジル)		百株	百株	千ブラジル・レアル	千円	
CVC BRASIL OPERADORA E AGENC	220	260	1,182	40,582	一般消費財・サービス	
CIA SANEAMENTO DO PARANA-PRF	1,960	—	—	—	公益事業	
RUMO SA	1,540	1,710.02	2,055	70,542	資本財・サービス	
SMILES FIDELIDADE SA	—	61	445	15,303	一般消費財・サービス	
CIA DE SANEAMENTO DO PA-UNIT	—	223	1,270	43,608	その他	
USINAS SIDER MINAS GER-PF A	150	740	636	21,841	素材	
ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	4,945.89	5,945.89	6,183	212,225	金融	
CENTRAIS ELETRICAS BRAS-PR B	280	240	480	16,473	公益事業	
BRADESPAR SA -PREF	820	1,140	3,135	107,593	素材	
BANCO DO BRASIL S. A.	1,840	1,515	4,670	160,299	金融	
COSAN SA INDUSTRIA COMERCIO	120	—	—	—	エネルギー	
CENTRAIS ELETRICAS BRASILIER	450	310	540	18,565	公益事業	
CCR SA	2,040	1,130	1,751	60,111	資本財・サービス	
NATURA COSMETICOS SA	140	110	337	11,570	生活必需品	
LIGHT SA	140	—	—	—	公益事業	
CYRELA BRAZIL REALTY SA EMP	—	500	619	21,244	一般消費財・サービス	
CIA ENERGETICA DE SP-PREF B	670	—	—	—	公益事業	
CIA DE TRANSMISSAO DE ENE-PF	95	—	—	—	公益事業	
LOJAS RENNER S. A.	1,369	1,200	3,970	136,277	一般消費財・サービス	
LOJAS AMERICANAS SA-PREF	1,854.46	1,194.46	1,828	62,761	一般消費財・サービス	
JBS SA	1,990	1,120	1,013	34,786	生活必需品	
SUZANO PAPEL E CELULOSE SA	980	530	952	32,704	素材	
LOCALIZA RENT A CAR	390	1,020	2,149	73,758	資本財・サービス	
EDP - ENERGIAS DO BRASIL SA	260	260	354	12,171	公益事業	
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	2,900	2,555	5,595	192,035	金融	
MULTIPLAN EMPREENDIMENTOS	295.76	260.76	1,801	61,830	不動産	
BR MALLS PARTICIPACOES SA	1,158.05	598.05	738	25,348	不動産	
CIELO SA	710	1,020	2,378	81,634	情報技術	
HYPERMARCAS SA	240	410	1,438	49,361	ヘルスケア	
CIA HERING	—	340	819	28,133	一般消費財・サービス	
EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD	230	260	1,670	57,331	公益事業	
IOCHPE-MAXION S. A.	660	446	953	32,710	資本財・サービス	
RANDON PARTICIPACOES SA-PREF	—	1,050	665	22,846	資本財・サービス	
BANCO SANTANDER BRASIL-UNIT	490	410	1,271	43,634	金融	
MINERVA SA	380	—	—	—	生活必需品	
RAIA DROGASIL SA	380	391	3,407	116,947	生活必需品	
SAO MARTINHO SA	659	—	—	—	生活必需品	
ESTACIO PARTICIPACOES SA	—	760	2,498	85,761	一般消費財・サービス	
QUALICORP SA	—	380	1,083	37,168	ヘルスケア	
KROTON EDUCACIONAL SA	—	800	1,396	47,938	一般消費財・サービス	

# ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

銘柄	柄	期首		当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額		外貨建金額	邦貨換算金額	
				百株	百株			
ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT BB SEGURIDADE PARTICIPACOES		1,062.65 180	— 180	千ブラジル・レアル 506	— 17,377			公益事業 金融
ブラジル・レアル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	31,599.81 34 銘柄	29,070.18 34 銘柄	59,804	2,052,486 <45.5%>			
ファンド合計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	58,009.91 50 銘柄	51,646.22 50 銘柄	—	4,388,267 <97.3%>			

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2017年12月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	4,388,267 千円	97.2 %
コール・ローン等、その他	127,763	2.8
投資信託財産総額	4,516,031	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.97円、1ブラジル・レアル=34.32円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,467,003千円)の投資信託財産総額(4,516,031千円)に対する比率は、98.9%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月20日現在

項目	当期末
(A)資産	4,516,031,070円
コール・ローン等	97,040,293
株式(評価額)	4,388,267,481
未収入金	11,179,207
未収配当金	19,544,089
(B)負債	5,700,000
未払解約金	5,700,000
(C)純資産総額(A-B)	4,510,331,070
元本	7,246,731,885
次期繰越損益金	△ 2,736,400,815
(D)受益権総口数	7,246,731,885口
1万口当り基準価額(C/D)	6,224円

\*期首における元本額は8,322,845,509円、当期中における追加設定元本額は382,304,041円、同解約元本額は1,458,417,665円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ブラジル株式ファンド5,648,981,984円、ブラジル株式オープン1,323,066,643円、ダイワ・エマージング&ジャパン・ファンド264,486,842円、ダイワ新興4カ国株式ファンド(ダイワSMA専用)10,196,416円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は6,224円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,736,400,815円です。

## ■損益の状況

当期 自 2017年6月21日 至 2017年12月20日

項目	当期
(A)配当等収益	36,750,017円
受取配当金	36,005,575
受取利息	115,737
その他収益金	646,728
支払利息	△ 18,023
(B)有価証券売買損益	781,881,984
売買益	854,744,347
売買損	△ 72,862,363
(C)その他費用	△ 4,017,290
(D)当期損益金(A+B+C)	814,614,711
(E)前期繰越損益金	△ 3,926,363,550
(F)解約差損益金	533,952,065
(G)追加信託差損益金	△ 158,604,041
(H)合計(D+E+F+G)	△ 2,736,400,815
次期繰越損益金(H)	△ 2,736,400,815

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。